

明るく、元気に、声出して

下総ドルフィンズ



高野 美織みおキャプテン(6年生)

バレーボールが大好きです！
中学・高校に進んでも、ずっとずっと続けていきたいです。

わたしたち下総ドルフィンズは、バレーボールが大好きな小学3～6年生の女子15人で活動しています。

市内で唯一バレーボールに取り組んでいるスポーツ少年団ということもあり、メンバーは下総地区に限らず、いろいろな学校から集まっています。

活動日は火曜日と土曜日の週2回で、活動場所は滑河小学校体育館。練習は、学校や学年に関係なく一緒に行っていて、みんな仲良

く楽しい雰囲気の中、あつという間に時間が過ぎてしまいます。

10年近く指導していただいている田谷監督・渡辺コーチ・飯島コーチはいつも「バレーボールはチームメイトとの連携・協力が大事なスポーツ」とおっしゃっています。

バレーボールは、強烈なスパイクを打ち込んだり、相手のスパイクをブロックしたりするところが注目されがちですが、監督たちの言葉通り、個人の活躍だけではなく勝利には結び付きません。地味なプレーに見えるかもしれませんが、ボールを確実に拾って攻撃につなげることが、いい流れを生み出す原動力になるので、受けたボールをセッターに正確につなげるよう意識して、レシーブの練



ボールの動きに神経を集中

習に積極的に取り組んでいます。わたしたちは「明るく、元気に、声出して」をモットーに、これからも、練習や試合を通して、仲間を思いやる気持ちや、自分の役割に応じた決断力を身に付け、息の合ったチームプレーができるよう技術を磨き、県大会出場を目標に勝利を重ねていきたいと思っています。

なかま
と一緒

120

手作りの良さを味わう

陶芸サークル「らびっ陶99」

わたしたちは、毎週木曜日に中郷公民館で活動しています。サークルの結成は1999年の卯年。皆さん気付いたかもしれません。サークルの名前は、英語の「ラビット(ウサギ)」と、陶芸の「陶」を掛けて「らびっ陶99」で、メンバーは、30歳代～90歳代の14人です。

陶芸は、粘土を成形し、高温の窯で焼成することで、陶磁器などを作る工芸ですが、わたしたちが作るのは陶器。自作のお皿や茶碗などの食器や、置物や花瓶などを、日常生活の中で使い、手作りの良さを味わっています。

陶芸は、世代を問わず楽しめるものですが、中身はとても奥が深いです。例えば、粘土は、気温や湿度などによって固さが微妙に変わるので、自分で成形しやすい固さまで練る作業には、根気や繊細さが求められます。また、曲線の具合などをイメージ通りに成形するためには、指先の微妙な力加減を意識しなければなりません。また、手びねり、ひもづくりなど、作り方によっても味わいが異なります。



何を作ろうかなと考えながら土練り

陶芸の醍醐味



世界に1つしかない作品を手に

は、何といっても窯焼き。朝から窯に付きっきりで温度の調整をし、素焼きでは約750度、本焼きでは約1230度まで中の温度を上げます。焼き上がりを待つ時間はわくわくし、出来上がった作品がイメージ通りに出来ていると、とてもうれしいです。

毎回、お昼の時間にみんなでお弁当を食べながら話をすることや、年1回の研修旅行なども、わたしたちの楽しみの一つです。このようにして、メンバー同士の交流を楽しみながら、これからもみんなで和気あいあいと活動していきたいですね。

スクスクのびのび

382



忍田 結花ちゃん(1歳)中台

音楽を聴くと自然にノリノリ音頭をみせてくれます(笑)



田中 心浩くん(5歳・右)土屋
天悠くん(2歳)

一緒に遊べるようになって楽しい毎日。いつまでも仲良かね。



山崎 竜也くん(5歳・右)橋賀台
春佳ちゃん(7カ月)

妹が生まれてとても嬉しいお兄ちゃんです。赤ちゃんのそばから離れません。



三澤 愛心ちゃん(4歳)美郷台

結婚式へおよばれ。とっても楽しかったよ。